

木馬会会報(第13号)

＊京都新聞杯特集＊

武豊19歳の言葉より

“全然故障もしないで、いつもいつも全力で走って、それでも勝てないでいる。月に2回も3回も走ってくれるのに。そういう馬には、自分が勝ちたいというよりも、勝たせてやりたいと思うんです。”

泣けた。未勝利戦には10回以上も走っているのに全然勝負にならない馬がいる。未勝利戦を考えているとき、「なんだよこの鼻糞みたいなレースは」といい加減な予想をしてしまいかち。中には気が悪い馬もいるだろう。でも鼻糞でも凄くおとなしくて、人懐っこくて、一生懸命走って、レースが終わって帰ると疲れて横になって、っていう馬だっているんだろう。凄く体調がいい時に流れが向いて2着とかにきて大穴あけて喚声と罵声をあびるなんてこと、彼には関係ない。そういう馬もいつかはいなくなって肉になっちゃうんだ。そういう時、その馬を知っている担当の厩務員や助手は泣くんだ。馬も競馬も好きな僕は、馬を殺すな！なんていえない。そういう仕組みなんだからしょうがない。でも、強い馬が強い勝ち方をする姿も美しいが、それと同じくらい、一生懸命走っている姿は美しいこと、忘れないでいたい。先頭はもうゴールしているのにまだ1ハロン棒の前を走っている馬、そんな馬だって美しい。だから、競馬場にいこうよ。

騎手で、何百頭という馬と出会い、すぐに別れてしまうのにこう思える。だから武は好きなんだ。

最後に、よかったね、ホワイトストーン。種牡馬になれて。絶対いつか会いに行くからね。

by 涙もろいたかP

やっとPAT方式に当選しました。これで儲けようというレースと楽しむレースの区別がつけやすくなるでしょう。そして馬の愛に目覚めた私は一週早めて来週から復帰することにしました。というのも、僕の恋人ヒシアマゾンちゃんが出るからです。彼女が前走で僕への不変の愛を示してくれたのに、僕が裏切るわけにはいかないでしょう。やはり女性にはまめに行かないとね。

予想者 おだりん

京都新聞杯

…予想者の屁理屈…

ナリタブライアンが1着以外になるはずもなく、エアダブリンが2着にならないわけもない。簡単だ。次に行こう。

おもしろいのはこっちだよ 府中牝馬ステークス

◎…ダンノーブル ○…ホッカイセレス △…ニュースヴァリュ

△…ノーブルアクション

…予想者の屁理屈…

おもしろい、いやーおもしろい。こういうレースは大好きである。本命はもちろんだンノーブル。フジヤマとマッチレースを演じた吾妻小富士賞を見れば、この中では役者が1枚も2枚も上であろう。2キロ減で、しかも的場君への乗り換わりとくれば、2着は絶対外すまい。ニュースヴァリュがいまいちの状態のようなので、対抗筆頭には、好調ホッカイセレス。この◎ー○が大本線で、押さえに典が良く似合うノーブルアクション。これでバッチリだ。

今週だけよ。おだりんの気になる3歳馬～来年に向けて～

先週、注目の1頭でとり挙げたヒシワールドが、期待どうりの走りを見せてくれ、今後相当な活躍をしてくれそうな気がしています。残念ながら、まる外なのでクラシックは駄目ですが、重賞路線を必ずにぎわしてくれるでしょう。(まだ1戦しかしていないのに…)クラシックでは、関西馬のフジキセキで断然でしょう。もっと書きたいのですが、時間がないのでスママセン。というわけで、ヒシワールドとフジキセキだと声を大にして宣言いたします。

今週は、投稿者が森田・小田の2名だけでちょっと物足りないですがよろしくお願い致します。皆さんガンバリましょう。

上期決算でバテバテのおだりんでした。